

数学

京都大学[理系] (前期)

<全体分析>

試験時間	150分	解答問題数	6題
------	------	-------	----

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・**変化なし**・増加) 難易 (**易化**・変化なし・難化)

出題の特徴

例年通り、誘導となる設問のない出題が中心であった。

その他トピックス

文系との共通問題は出題されなかった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	極限、微分	数学III	eに関する極限。	標準
2	整数	数学A	2で割った余り、3で割った余りに注目する。	やや易
3	図形の性質	数学A	正四面体であることの証明。	やや易
4	積分	数学III	回転体の体積を求める。	やや難
5	確率、数列	数学A 数学B	漸化式を立てて解く。	標準
6	複素数と方程式 複素数平面	数学II 数学III	方程式 $f(x) = 0$ の解を考える。	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

問題文を正確に読みとる力、解決への道筋を自分で考える力、考えたことを答案にうまくまとめ上げる力などが要求されている。普段からそれを念頭において学習しよう。